

「社会で生きること(マナー・感謝・協力)を学んだ修学旅行」

今年度の修学旅行は、10月6日～8日、京都・奈良の関西方面で実施しました。1日目は、京都駅をスタートして、東本願寺、三十三間堂、清水寺、八坂神社をチェックポイントとして班別研修を行いました。2日目は、伏見稻荷大社、東寺、嵐山散策、金閣寺見学、3日目は、奈良東大寺見学を行いました。この3日間で生徒は普段の学校生活では経験できない社会で生きる中で必要なことを学んだと思います。これからの学校生活にきっと生かしてくれると期待しています。修学旅行については、保護者の皆様の温かいご理解とご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

生徒感想

この2泊3日でいろいろなことを学び、今後に生かしたいと思いました。1つ目はホテルなどの過ごし方等、改めてマナーの必要性を学びました。2つ目は修学旅行は、いろいろな人が関わっていて、その人達への感謝をできてよかったです。この旅行を通して、自分が時間を守ることが成長できました。今後日ごろの生活に生かして、人間性をもっと良くしていきたいなと思いました。

今まで知らなかった友達のいいところや、がんばっていたところを新しく発見しました。班別研修や修学旅行全体を通して、5分前に行動できたり、ルールやマナーを守って行動できたことをこれからに生かしたいです。自分の仕事、役割に責任をもってすることができました。班別研修では、班員と協力することの大切さを知ることができました。

班別研修では、見通しをもって行動することが大事なのだと思います。自分は班長なので、班員がはぐれないように常に見ながら行動し、たくさんの人がいる中だったので、一人一人が公共でのルールを守る自覚を持った行動をしないと、周囲の人に迷惑をかけてしまうことをとても感じました。学んだことを今後の学校生活に生かしたいと思いました。

3日間、友達と過ごしていく中で、改めて集団生活をするとはどういうことなのか、どんなことに気を付けるのかを知ることができた。班別研修などを含めて、友達のありがたみ、自分の仕事にある責任感を感じる場面がたくさんあった。修学旅行は、大切なことを改めて思い出すことができる大切な行事だと思った。

修学旅行を通して、自分ができることとできないことをたくさん知ることができたので、これらの新しい発見を自分への成長につなげたいと思いました。また、一緒にいる時間が長いこともあり、友達の新しい一面が見れた感じがして、うれしかったし楽しかったです。

修学旅行では、友達と楽しく過ごしたこと、歴史を学んだこと以外にも、学校の中だけでは体験できないルールやマナーを改めて体験することができました。朝早くに自分たちで現地に集合すること、歩道ではばらけないようにすることなど、修学旅行という「楽しいイベント」の中でも、マナーを忘れずに生活することが、とてもいい学びになったと思います。これまでの自分の行動を見直し、今後の学校生活に生かすことも視野に入れて過ごしたいです。

新幹線に乗る前に待ち方をきちんとするよう心掛けたり、降りる人を優先したりと工夫して行動を改めることができました。新幹線内では、ゴミを片付ける、席を戻す等、自分のことや周りのことを考えて、同時に楽しむことができました。清水寺などでは、人の邪魔にならないように写真を撮ったりして、「少しでも迷惑がかからなければいいな。」という気持ちで修学旅行を楽しみました。